

広げる未来プロジェクト(高大連携事業)2026 講義と演習(心理学)

教師を目指す高校生の皆さんへ

思春期から青年期にかけて、人はどのように心を成長させるのでしょうか。本講座では、人間の心身の発達のしくみと、「ほめること」がもつ心理学的な意味を学びます。子どもと大人は何が違うのか、なぜほめ方一つで意欲や関係性が変わるのか、その理由を探ります。将来、子どもたちと向き合うときに役立つ“心の理解”を、健大で心理学を研究する先生との対話を通して学んでみませんか。

発達心理学「子どもから大人へ」

角野 善司 先生

「子ども」と「大人」の違いは何でしょうか。「子ども」はいつ「大人」になるのでしょうか。どうしたら「子ども」は「大人」になれるのでしょうか。「子ども」から「大人」への移行期である思春期・青年期を中心に、人間の発達・教育について考えていきたいと思えます。

教育心理学「“ほめる”を考える」

佐々木 典彰 先生

近年、流行している「ほめる」ことについて、心理学の観点から考えます。もしかしたら、「ほめる」ことは、必ずしも「いいこと」とは限らないかもしれません。

日 時 : 令和8年6月14日(日) 9時30分~11時40分

場 所 : 8号館2階206講義室(受付は8号館1階 9時15分より)

定 員 : 30名

持ち物 : 筆記用具

※高崎駅東口より、大学行きスクールバスが9時00分に発車いたします。

※右の二次元バーコードからお申込みください

[受付は8号館1階です]

＼ こちらにお越しください ＼



締切: 6月5日(金)



内容に関するお問い合わせと当日の欠席連絡先
高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科
講師: 佐藤和貴

E-mail: sato-k@takasaki-u.ac.jp